

新聞 第四回新年号 2005年1月発行



2005年がスタートし、気持ちも一新。皆さんはどんな目標を立てましたか？ それぞれの目標に向かって、元気にハツツと今年一年をすすめていきなすね。

私達は皆様の健康と笑顔を創造するために、精一杯お手伝いをさせていただきます。今年もどうか、よろしくお願ひ致します。



白田昌史のインプラント日記 (最終話)

前回は自ら人工歯根治療(インプラント)を受けた数少ない歯科医師であることを書きました。私人口の中にはインプラントが入っています。お陰様で食事時に噛み砕く物はあります。それ以外は噛み砕く必要がなくなり、歯を磨く必要もありません。歯を磨く必要がなくなり、歯を磨く必要もありません。歯を磨く必要がなくなり、歯を磨く必要もありません。

現代インプラントの研究が始まって100年、インプラントは最初がステンレス、金、形状記憶、人工骨で作られてきました。現代の材料は多く、1952年にチタンという金属が偶然、骨と結合する性質が発見されたことから、チタン製のインプラントが主流になりました。現在はチタン製のインプラントが主流です。

現代インプラントの研究が始まって100年、インプラントは最初がステンレス、金、形状記憶、人工骨で作られてきました。現代の材料は多く、1952年にチタンという金属が偶然、骨と結合する性質が発見されたことから、チタン製のインプラントが主流になりました。現在はチタン製のインプラントが主流です。

現代インプラントの研究が始まって100年、インプラントは最初がステンレス、金、形状記憶、人工骨で作られてきました。現代の材料は多く、1952年にチタンという金属が偶然、骨と結合する性質が発見されたことから、チタン製のインプラントが主流になりました。現在はチタン製のインプラントが主流です。

現代インプラントの研究が始まって100年、インプラントは最初がステンレス、金、形状記憶、人工骨で作られてきました。現代の材料は多く、1952年にチタンという金属が偶然、骨と結合する性質が発見されたことから、チタン製のインプラントが主流になりました。現在はチタン製のインプラントが主流です。

現代インプラントの研究が始まって100年、インプラントは最初がステンレス、金、形状記憶、人工骨で作られてきました。現代の材料は多く、1952年にチタンという金属が偶然、骨と結合する性質が発見されたことから、チタン製のインプラントが主流になりました。現在はチタン製のインプラントが主流です。

現代インプラントの研究が始まって100年、インプラントは最初がステンレス、金、形状記憶、人工骨で作られてきました。現代の材料は多く、1952年にチタンという金属が偶然、骨と結合する性質が発見されたことから、チタン製のインプラントが主流になりました。現在はチタン製のインプラントが主流です。

浦見子さんの矯正日記 (最終話)

矯正を始めて、1年9ヶ月、昨年10月に装置が取りました。今では何でも食べられるようになりました。大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

本当にありがとうございました。

皆さんも矯正美人になりませんか？

もし歯子防カニ必需品 ~ キシリトールには注意
 ・キシリトールはむし歯の原因菌ミュータス菌に対してとても効果的の働きをします
 ・キシリトールは唾液中のカルシウム分と結合し性質が歯の表面を再石灰化を促します
 ・キシリトールは唾液の分泌量を増進効果があります
 ・キシリトールは歯垢の除去に効果的です



おすめの本 BOOK
 今回おすめの本は、木田 邦子の『にんげん生』です。小説や物語には詩集の美文字も入っています。何か迷った時や、忙しかった時に、読んでみるのもいいかもしれません。是非読んでみてください。

スタッフ紹介

今回は新年号にふさわしく白田で一着ブルジョア21歳! 吉野真由美 (助手)

出身地: 勝本(新城東)
 血液型: A型
 星座: 山羊座
 趣味: メール

好きなおかし: 50円大のBigチョコ
 好きな色: オレンジ
 性格: 1つもニコニコ明るい



柳あや子さんの詩集『山にまじりて』
 柳あや子さんの詩集『山にまじりて』は、自然の美しさを描いた詩集です。是非読んでみてください。